

住民意識アンケート調査結果報告

播磨町総合防災マップについて

▼問合せ ○住民意識アンケートについての問い合わせ

企画グループ ☎079(435)0356

○播磨町総合防災マップについての問い合わせ

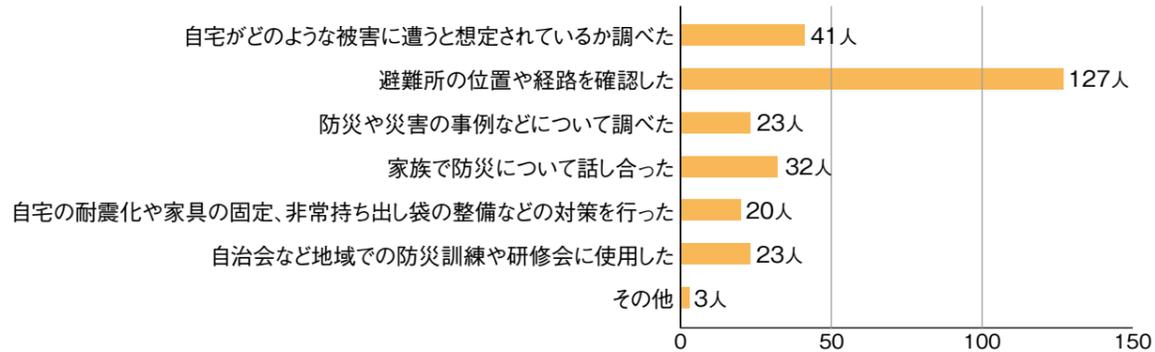
危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町では、「住民参加のまちづくり」をより一層進めるため、皆さんからご意見やご提言をいただく町政モニター事業を行っています。

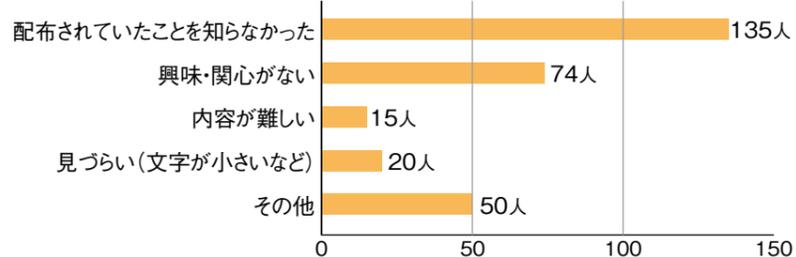
今回は、平成22年3月に全戸配布しました「播磨町総合防災マップ」の効果を引き出すために必要な施策を検討する基礎資料を得るため、同マップの認知度、活用方法などについて住民意識アンケート調査を実施しました。播磨町在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した千人の方に送付し、437人（内ホームページからの回答数5人）の方からの回答をいただきました。



問3. 「播磨町総合防災マップ」をどのように活用されましたか（複数回答可）



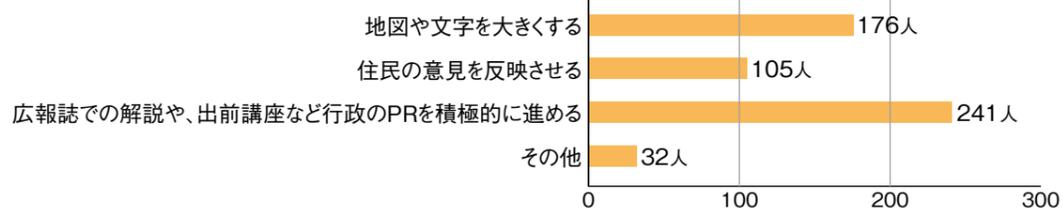
問4. 「播磨町総合防災マップ」を知らなかった（活用しなかった）理由を教えてください（複数回答可）



問4の「その他」の意見より抜粋

- 必要性をあまり感じない
- 興味、興味はあるが時間がない
- 活用する状況がない
- 何に活用するのか分からない など

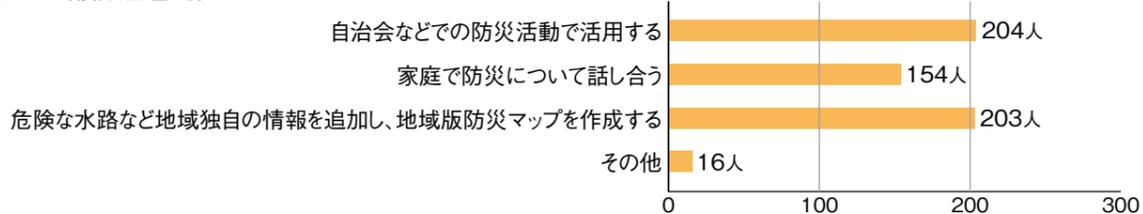
問5. 今後、「播磨町総合防災マップ」をより活用するためには、行政のどのような改善や取り組みが必要だと思いますか（複数回答可）



問5の「その他」の意見より抜粋

- 携帯用のマップを作成する
- 今のままで良い
- 看板のように公園などに掲示する
- 外国語版を作成する など

問6. 今後、「播磨町総合防災マップ」を活用するためには、家庭や地域でどのような取り組みが必要だと思いますか（複数回答可）

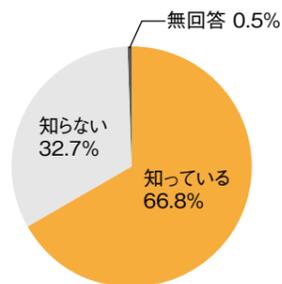


問6の「その他」の意見より抜粋

- 近所の一人暮らしの高齢者世帯などを把握しておく
- 自治会に加入していない人の対策が必要
- 子どもからお年寄りまでみんなで参加できる防災訓練を実施する
- まず家族単位で話し合う など

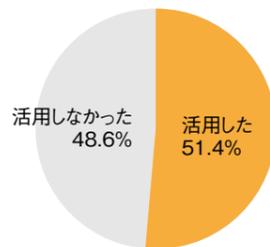
問1. 「播磨町総合防災マップ」をご存知ですか

(知っている → 問2へ、知らない → 問4へ)



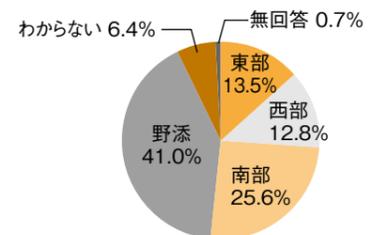
問2. 「播磨町総合防災マップ」を活用されましたか

(活用した → 問3へ、活用しなかった → 問4へ)

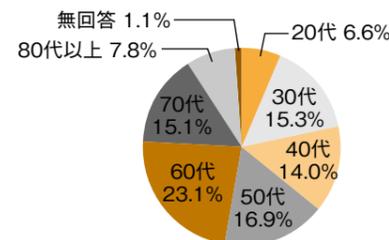


「播磨町総合防災マップ」についてお伺いします

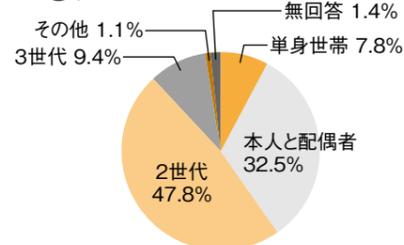
問A. あなたのお住まいの地域は、どのコミセンに属していますか



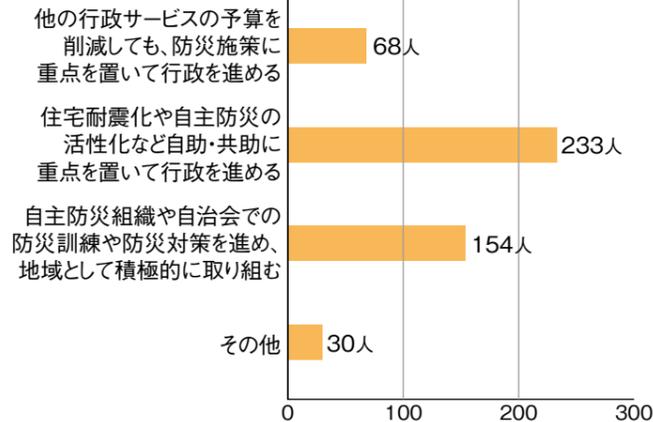
問B. あなたの年代を教えてください



問C. あなたの家族構成を教えてください



あなた自身についてお伺いします



問7. 今後30年以内に東南海・南海地震が高い確率で発生するといわれています。この地震では大きな揺れと共に、津波の発生も心配されています。

一方で、阪神淡路大震災をはじめこれまでの事例から、大規模災害発生直後は公助（行政の対応）が十分に機能せず、自助（自ら自分を助ける）や共助（家族や地域で助け合う）が重要であることが指摘されています。

このことから、安全・安心のまちづくりを進めていく上で、自助・共助の一層の充実是不可欠といえますが、あなたはどうすべきだと思いますか。

問7の「その他」の意見より抜粋

- ・高齢化に伴い若年層が少なくなっている自治会もあり、いざという時に動ける人がいるのかが疑問。また、日中は、若年者が家に不在のケースが多いので、時間帯よっての対策も考えていく必要がある
- ・今のままで良い
- ・高齢者、障がい者への対応を考える
- ・職場、学校などでも防災について学習する時間を取るべきだと思う
- ・自分のことは（家族共）自分で守る。他を当てにしない
- ・行政の施策を始め、地域との連携が必要ですが、各個人の自覚がまず必要かと思えます。自助、共助は防災以外の高齢社会においても重要と考えます
- ・突然の災害直後にいきなり完璧な公助は不可能。地域ごとに、力を発揮できる能力のある人や意欲のある人を行政側が把握しておくなど

第4次播磨町総合計画スタート

平成23年4月から10年間の計画で、第4次総合計画がスタートします。広報と一緒に総合計画の概要版を配布していますのでご覧ください。中央公民館、各コミセンで詳しい内容を記載した本編を閲覧することができます。また、図書館では貸し出しも行っていますのでご利用ください。

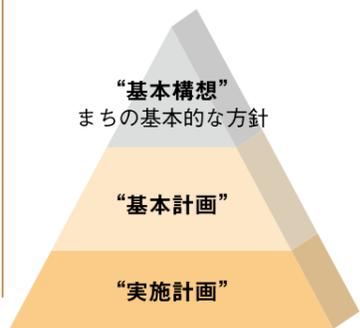
▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

◇ **総合計画とは**

総合計画とは、町を取り巻く現状と課題を踏まえ、長期的な視点でまちのあるべき姿を定め、その実現のための施策方針を明らかにするもので、町の最上位計画に位置づけられます。基本構想、基本計画、実施計画で構成され、この方針に基づいて、様々な事業を実施していくこととなります。

◇ **取り組みの柱**

- 1 豊かな心と人を育むまち**
 - (1) 学校教育の充実したまちをつくる
 - (2) 学べる環境の充実したまちをつくる
- 2 やすらぎがあり、健やかに暮らせるまち**
 - (1) 健康・医療・福祉の充実したまちをつくる
 - (2) 安全・安心対策の充実したまちをつくる
 - (3) 生きがいをもって安心して働けるまちをつくる
- 3 人や環境にやさしく、快適なまち**
 - (1) 自然をいかしたうるおいのあるまちをつくる
- 4 つながりを大切にするまち**
 - (1) 人権を大切にすまちをつくる
 - (2) 情報や人との交流が盛んなまちをつくる
 - (3) まちづくりに住民が参画できるまちをつくる
- 5 健全な行政経営による持続可能なまち**
 - (1) 持続可能な行財政運営を進めるまちをつくる

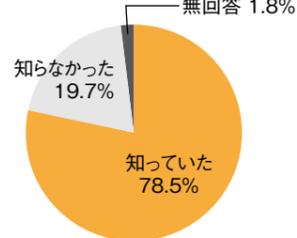


▲いつでも確認できるようにご家庭で保管してください

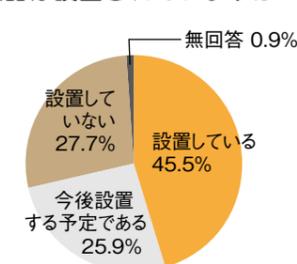


住宅用火災警報器についてお伺いします

問8. 消防法の改正により、平成23年5月31日までに、全ての住宅で住宅用火災警報器を設置しなければなりません。このことはご存知でしたか



問9. お住まいの住宅には、住宅用火災警報器は設置されていますか



加古川消防本部より
**「住宅用火災警報器」
まもなく設置期限を迎えます!!**

住宅火災による死者数を減少させるため、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅用火災警報器は住宅火災からみなさんの命を守る切り札です。設置期限が5月31日と迫っていますので、まだ設置されていない方はお急ぎ下さい。

なお、住宅用火災警報器は煙を感知する方式のもので、日本消防検定協会の鑑定マーク(NS)が付いているものを選んでください。



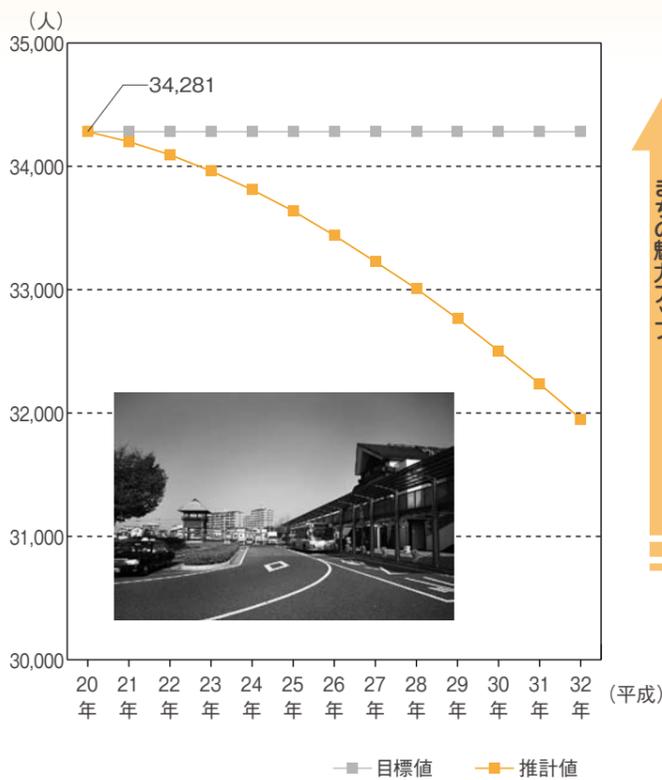
▶問合せ 消防本部予防課 ☎079(427)6532

ご協力ありがとうございました。アンケート調査の結果から一部を抜粋してお知らせします。なお、町ホームページでも調査結果を公表しています。

◆ 将来目標人口

播磨町の人口は、平成10年をピークに頭打ちになり現在は減少傾向にあります。
 これまでのペースで人口の減少が進めば、平成32年の総人口は、3万1千952人になることが予測されます。また、播磨町の高齢化率はすでに20%を越えており、平成32年には、28・3%になることが見込まれます。様々な課題がありますが、少子高齢化や若い世代の流出はこれからの重要な課題です。播磨町に住んでみたい、住み続けたいと思える魅力あり

■ 播磨町の人口

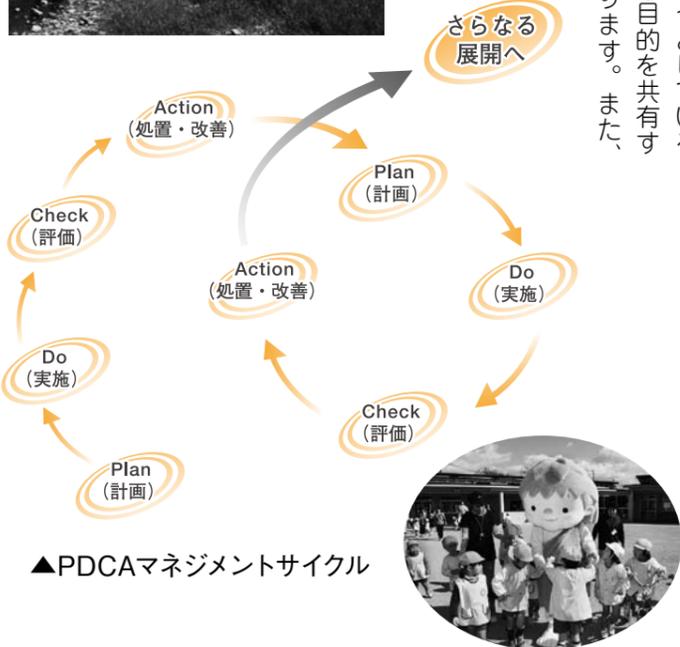


まちづくりを進めていく必要があります。まちの魅力を高め、地域の活力のもとである人口の減少をできる限り抑制し、10年後も現在の人口の維持を目指します。
 しかし、人口減少を食い止めるための特効薬はありません。住民の皆さんの視点から住みよいまちづくりを考え、多角的に取り組まなければなりません。二丁目は複雑・多様化しており、行政だけではなく住民の皆さんとともに考え、一緒にまちづくりを進めていくことが必要です。

◆ 第4次総合計画に新たに取り入れたこと

・ 住民意識調査や各種団体のヒアリング、まちづくり検討会、長期総合計画審議会で出された意見などを踏まえ、行政の責務として取り組むものを「行政の取り組み」、住民の皆さんや各種団体などで取り組んでいただきたいことを「地域の取り組み」と分けて記載しています。
 ・ 事業を通して達成しようとする目標を定め、その進捗状況をはかるために代表的なものを「まちづくり指標」として記載しています。これは、何を指すものとしているのか住民の皆さんと目的を共有することにもつながります。また、

まちづくり指標として挙げられているもの以外にも様々な目的で事業を実施していますが、成果の上がない事業を見直すための1つの指標となります。
 ・ 計画の推進過程におけるPDCAマネジメントサイクルを政策・施策・事務事業に適用します。これにより、立てた計画をただ実行するだけではなく、事業の成果が上ってきているかなどを評価し、改善の取り組みにつなげていきます。

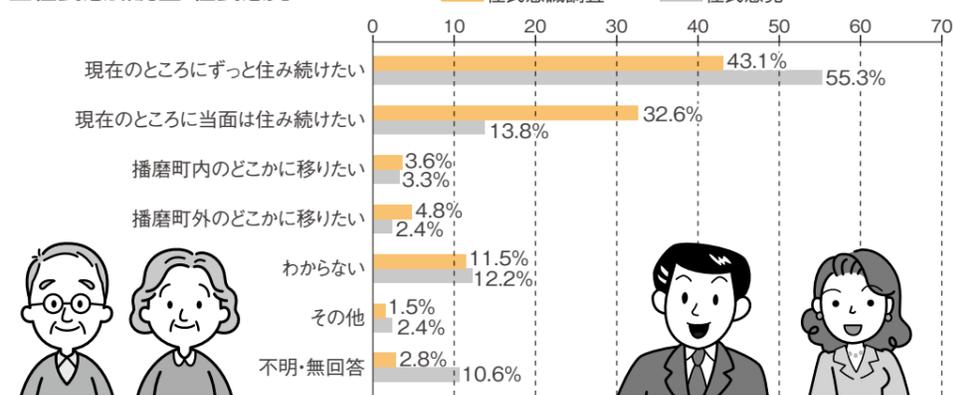


▲ PDCAマネジメントサイクル

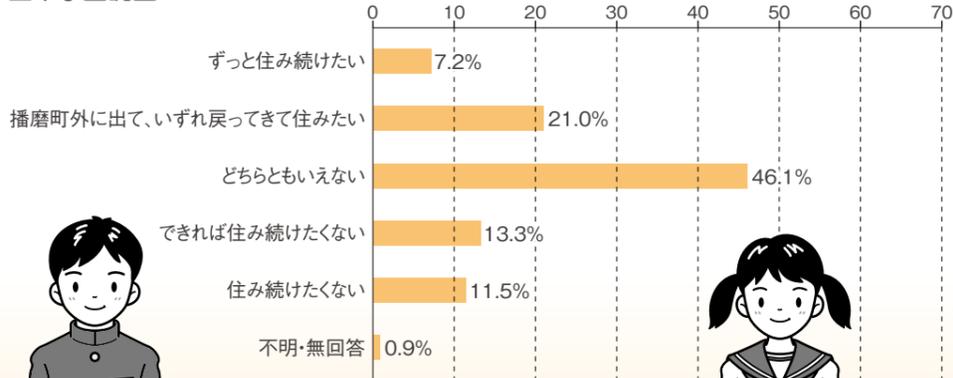
◆ 播磨町への定住意向について

本町への定住意向については、「現在のところにはずっと住み続けたい」「現在のところには当面は住み続けたい」が「住民意識調査」で75・7%、「住民意見」で69・1%となっています。中学生の定住意向では、「ずっと住

■ 住民意識調査・住民意見



■ 中学生調査



み続けたい」「播磨町外に出て、いずれ戻ってきて住みたい」が28・2%となっています。
 一方、「どちらともいえない」が46・1%と最も高くなっています。

◆ 安全・安心なまち、心の豊かさ、健康で人が元気なまちが求められています

今後目指していくべき播磨町の将来像について、「住民意識調査」では「安心・安全」が群を抜いて最も高く、次いで「心の豊かさ」「自然の豊かさ」が高くなっています。一方、「中学生調査」では「みんな

が安全で、安心して暮らせるまち」が最も高く、次いで「みんなが健康で人が元気なまち」「インターネットやケーブルテレビなどの情報網が充実したまち」となっています。

■ 住民意識調査

